

北海道議会議員

新十津川町特別功労者

故釣部勲氏を

悼んで

かねてから入院加療中であった北海道議会議員 釣部勲さんが、ご家族の願いもかなわず、9月27日(逝去されました。

釣部さんは、昭和58年に新十津川町にご自宅を構えられ、平成3年4月に北海道議会議員に初当選されて以来、新十津川町を拠点として、7期26年に



平成3年4月 北海道議会議員に初当選

わたりご活躍されました。平成19年には第26代北海道議会議長の重責を担われ、道議会の公正・円滑な運営に辣腕を振るわれました。

誠実な人柄と卓越した行動力により、農業生産基盤の整備に係るパワーアツプ事業の継続や、新十津川農業高校の整備と支援、青少年の健全育成、金滴



新十津川町での道政報告会

酒造の再建、自衛隊との連携など、新十津川町の活性化にご尽力いただきました。

町政発展に多大なご貢献をいただいた釣部勲さんの、ご逝去を悼み、心からご冥福をお祈り申し上げます。

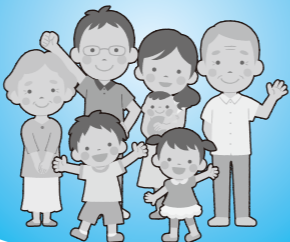


北海道議会議長時代

主な経歴

- 昭和20年 赤平市生まれ
- 昭和39年 道立美唄東高等学校卒業
- 昭和44年 東洋大学法学部卒業
- 平成3年 北海道議会議員初当選
- 平成7年 北海道議会議員当選2回
- 北海道議会産地地域振興対策特別委員会副委員長
- 平成9年 北海道議会保健福祉委員会副委員長
- 平成11年 北海道議会議員当選3回
- 北海道議会運営委員長
- 平成13年 自民党道連政務調査会長
- 平成15年 北海道議会議員当選4回
- 自民党・道民会議委員会会長
- 平成17年 自民党道連副会長
- 平成19年 北海道議会議員当選5回
- 第26代北海道議会議長
- 平成21年 自民党道連常任顧問
- 平成23年 北海道議会議員当選6回
- 北海道議会議員当選7回

うちの子 よその子 みんなの子
みんなで育てる新十津川っ子



青少年健全育成町民会議

言葉のエネルギー

青少年健全育成町民会議

代表 笠井 正憲

私は曰くから「子どもたちはこの町の宝である！」と考え、地域の子どもたちが健やかに育つことを強く願っています。そこで、子どもたちの健全育成を進めていく上で、私が大切に行っていることがあります。それは、「想いは叶う」と「ありがとう」の2つの言葉です。言葉には「言葉(エネルギー)」があるとされています。皆さんはこの言葉を意識していますか？言葉を持つエネルギーは、とても大きな力があると思います。

例えば「自分の口から出た言葉は回り回って自分に帰ってくる」と言われています。このことを理解して納得した方は、マイナスの言葉を言わなくなります。それは、そのことが自分に帰ってくるからです。他にも「他人の悪口、周りの人が悪い、社会が悪いと自分以外に責任を押し付ける」など、思い当たりませんか？いつもマイナスの言葉を発している人の

ところには、近づきづらくなると思います。マイナスの言葉を発することで、不幸を一人で背負い込んでいってしまうようにも、言われた方は困ってしまいます。

逆に、いつも笑顔で明るく楽しい人の所には、その言葉が人を引き寄せるかのように楽しい人が集まります。これは、言葉のエネルギーがはつきり見えているのです。ここで改めて、皆さんにお願いがあります。「子どもたちの健全育成」に、新十津川町の皆さん一人ひとりが、今一度、先ほど述べた言葉を意識して使っていたいただきたいのです。

◎「想いは叶う」

想いとは自分の意識のことです。この意識はエネルギーです。人生経験が豊富な方は、さまざまな経験から実感していることだと思います。この言葉は、別な言い方をすると「思考は現実になる」とも言われ、皆さんもどこかで聞いたことがあると思います。他にも、「願いは叶う」とあるのは「引き寄せの法則」とも言われています。

この素晴らしい新十津川に住

んでいることを誇りに思い、言葉にしてください。「こんな良い町は無いぞ！」と・・・

◎「ありがとう」

言葉を意識して、プラスの言葉を使いましょう。「ありがとう」は最強の魔法の言葉です。どうぞ皆さんが意識してエネルギーの高い言葉や想いを述べてください。なぜなら、町全体のエネルギーが上がり、その中に暮らす「自分や子どもたちも成長していく」と思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

6月11日開催、青少年健全育成のついで「健全育成」メッセージから



秋の下校時安全指導実施

日時 平成29年9月27日(水) 28日(木)

新十津川小学校児童の下校時における安全指導を、通学路要所8カ所で行いました。

町民会議理事はもちろんです。安全・安心推進協会、女性団体連絡協議会、老人クラブ連



合会、民生委員児童委員協議会、そして地域町内会の皆さん、総勢87人のご協力をいただきました。

この安全指導のねらいは、

- ①子どもたちの下校時におけるより確かな安全を確保する。
- ②防犯をアピールする。
- ③子どもたちと立哨者の皆さんとの交流を図る。

立哨者の皆さんは、声掛けや見守り、あいさつを積極的に行い、子どもたちは笑顔で応えていました。

子どもたちとの心がふれ合う時間でした。

安全指導していただいた皆さんに感謝いたします。ありがとうございます。